

プラズマ・核融合学会誌

第83巻第5号

2007年5月

解説	レーザープラズマ分光法による元素分析	香川喜一郎, IDRIS Nasrullah	401
特集	炉心プラズマの定常化に向けたトラスプラズマ開発研究の現状と展望		
	1. はじめに	井手俊介, 高瀬雄一, 大藪修義	413
	2. 定常化研究の現状		
	2.1 トカマク定常化の現状	井手俊介	415
	2.2 球状トカマク定常化の現状	高瀬雄一, 前川孝	423
	2.3 ヘリカルプラズマ定常化の現状	大藪修義	429
	3. 定常化に向けた課題と解決へのアプローチ		
	3.1 先進トカマクプラズマの電流分布制御	鈴木隆博	434
	3.2 高閉じ込めプラズマの制御	坂本宜照, 居田克巳	439
	3.3 MHD 不安定性の回避と抑制	小関隆久, 渡邊清政	446
	3.4 燃料補給と熱・粒子制御	竹永秀信, 森崎友宏	453
	4. おわりに	井手俊介, 高瀬雄一, 大藪修義	460
講座	高速プラズマ流と衝撃波の研究事始め		
	5. 実験室における高速流と衝撃波研究の最前線		
	5.1 高強度レーザーを用いた宇宙物理模擬実験	高部英明	465
	5.2 レーザー推進における高速プラズマ流とデトネーション波	佐宗章弘	472
	5.3 プラズマにおける限界速度	田中雅慶	477
	5.4 磁気ノズルによる超音速流の生成と衝撃波	犬竹正明, 安藤晃	483
	5.5 電磁加速パルスプラズマとスフェロマック形成	永田正義	491
	5.6 トカマク・ダイバータとスクレイプ・オフ層における高速プラズマ流	朝倉伸幸	501
	5.7 トロイダルプラズマの高速流-ポロイダルショック	伊藤公孝, 糟谷直宏, 伊藤早苗	509
	5.8 高速回転流の生成と高ベータプラズマ閉じ込め	吉田善章	515
レビュー論文	プラズマにおける結合振動子の時空カオス同期現象	福山隆雄, KOZAKOV Ruslan, TESTRICH Holger, WILKE Christian	521
博士論文紹介	ビーム放射分光法を用いたヘリカルプラズマの輸送と揺動に関する実験的研究	大石鉄太郎	528
Plasma and Fusion Research 掲載論文アブストラクト			532
インフォメーション			533
	ITER だより(3)		
	【会議報告】第10回若手科学者によるプラズマ研究会		
	【人事公募】		
Plasma & Fusion Calendar			535
本会記事	学会賞候補者の募集/総会提出資料の学会ホームページ掲載・閲覧について/第46回プラズマ若手夏の学校		536
新着文献リスト		核融合科学研究所	538
Errata			543

表紙の絵

ダイバータ模擬装置 NAGDIS-II (名古屋大学) にてヘリウムプラズマおよびレーザー照射したタングステン表面の SEM 像。(a), (c), (e) はレーザー照射前(プラズマのみ照射), (b) は YAG レーザー (2 kJm^{-2}), (d), (f) はルビーレーザー (それぞれ 70 kJm^{-2} , 580 kJm^{-2}) 照射後の表面の様子。レーザー照射がヘリウム照射損傷の進行(b)や緩和(f)をもたらしている。(Shin KAJITA *et al.*, Plasma and Fusion Research Vol.2, 009 (2007). <http://www.jspfor.jp/PFR/>)

【複写をされる方に】本会は下記協会に複写に関する権利委託をしていますので、本誌に掲載された著作物を複写したい方は、同協会より許諾を受けて複写してください。ただし、日本複写権センター(同協会より権利を再委託)と包括複写許諾契約を締結されている企業の社員による内利用目的の複写はその必要はありません。(社外頒布用の複写は許諾が必要です) 権利委託先: 学術著作権協会 Tel: 03-3475-5618 E-mail: info@jaacc.jp
なお、著作物の転載・翻訳のような複写以外の許諾は、学術著作権協会では扱っていませんので、直接発行団体へご連絡ください。
また、アメリカ合衆国において本書を複写したい場合は、次の団体に連絡してください、

Copyright Clearance Center, Inc. (CCC) (222 Rosewood Drive, Danvers, MA 01923, USA Tel 1-978-750-8400; Fax 1-978-646-8600)